

2022年度 SAプログラム説明会 概要（事務連絡）

単位認定・履修登録・学費 等について

1. 単位の付与について

夏期 SA は、海外英語演習として、留学先から送付された成績証明書や出席証明書、留学期間中に現地から提出する英語レポート、帰国報告時のプレゼンテーション、面接を参考にして単位を**4単位**付与します。

長期のフォントボン大学・UCD・ヴィクトリア大学での修得単位は、夏期 SA とは違い、単位認定方式です。現地で修得した科目は、法政大学英文学科の内容の近い専門科目に読み替えます。基本的には「選択必修 B」に読み替えます。読み替えられる単位は**22単位まで**です。ただし、現地での修得単位を当てにしないようにしてください。英語での授業なので、当然、難しいです。毎年単位を落とす方が多くいます。現地で単位を落としても大丈夫なように、日本にいる時は履修科目をよく考えて、多めに履修し、現地でも、単位を落とさないように頑張りましょう。

2. 現地の学習形態について

UCD・ヴィクトリア大学は語学スクールに通っていただきます。

フォントボン大学では、ESL 科目と現地の大学生が受けている正規科目の授業を、受講することができます。正規科目は現地の大学生と混ざって自分の実力を試したり、伸ばしたりしたい方にはぜひ挑戦していただきたい授業ですが、当然ネイティブイングリッシュの為、難しいです。こういった挑戦を出来るゆとりを残すためにも、日本での大学の勉強はしっかりしてくださいね。

3. 履修について

長期プログラムに参加する場合(UCD 夏期以外)は、秋学期は日本にいませんので、秋学期科目は受けられません。次年度に取ることになります。

特に、必修の諸外国語・体育は、1年次で修得できるものは、落とさずに修得するようにしましょう。

2年生の秋学期に SA 参加の場合、特例措置として、**3年の春学期**に4群語学を履修することができます。しかし、1 回だけのチャンスでは不安だという声もありますので、3年の秋学期に、通常2年次秋学期で必修の語学を履修することができます。

4. 履修登録について

以前、具合が悪くなって残念ながら SA に参加できなくなってしまった方がいました。また、新型コロナウイルスの影響で、実施が決まった場合も、途中で中止等になる可能性があります。

そういった万が一のために**履修登録は通年分**してください。秋学期および通年科目は、出国後に文学部担当で削除します。**D/E 評価がつくことはありません。**

5. 教職免許状取得を考えている方へ

教職免許状取得を考えている場合、**SA 先で修得した科目は教職科目として使用不可**です。

法政大学英文学科での履修単位のみで免許が取得可能かを今一度確認してください。

6 単位認定の流れについて

- ①現地での登録科目が決まったら、時間割や授業内容等の詳細、単位認定申請書を文学部へ提出
- ②現地での登録科目の変更が生じたら随時メールで報告

これは事務処理が発生します。海外と日本の間でメールをやりとりするなど、面倒なことでもきちんとこなしていただかないと成績がつかないことがあります。

7 学費について

SAに行っても、法政の学費はかかります。(SAの学費+留学先の学費)

そのため、必ず保証人の方とお話しておいてください。

なお、奨学金の給付がありますが、金額は年度によって変動します。

8 その他

最後に当たり前のことですが勉強しに行くので課題など大変なことがあります。

また、フォントボンでは留学生だからと特別扱いされません。留学生向けではないからといって学生全員が参加するイベントに参加しないことがないようにして下さい。

以上